



いも話の話題

5月12日 子どもたちに夢と希望を

和田毅投手展示コーナー 出雲健康公園クラブハウス(矢野町)



今年1月、出雲市役所を訪れた時の和田投手

5月12日、小中学生時代を出雲市で過ごした和田毅投手(プロ野球福岡ソフトバンクホークス)の展示コーナーを出雲健康公園クラブハウスに新設しました。

“子どもたちに、だれでも努力すればプロ野球選手になれるという夢と希望を与えたい”という和田投手の提案から実現したこのコーナー。アテネ五輪で獲得した銅メダルをはじめ、日本代表ユニフォームやスパイク、大学時代の写真パネルなど、これまでの活躍を物語る記念の品々が並びます。

どなたでも無料で観覧できますので、ぜひ見に来てください。



展示品は全部で24点。おたずねはNPO法人出雲スポーツ振興21(TEL 25-1006)まで

5月15日 古代ロマンを感じた一日

『古代ロードまつり』開催 横見埋没林(佐田町橋波地内)

横見埋没林の発見2周年を記念して、「古代ロードまつり」が5月15日に開催されました。

横見埋没林は、5~7万年前の三瓶山の噴火により形成された国内最古級のもので、

会場となった埋没林発見現場では、創作劇や記念植樹をはじめ、古代の“雨の化石”といわれる火山豆石の発掘体験、埋没林の説明会などが行われました。また、会場近くの橋波ふるさと館では、古代レストランとして、赤米(古代米)を使ったご飯、川魚料理や山菜の天ぷら、イノシシの煮込み、橋波こんにやくなど、地元の食材を使ったバイキング料理が並びました。

五月晴れの中、古代へのロマンを感じさせる一日になりました。



特設ステージでは、地元の人たちで作った創作劇「古代からのメッセージ」が披露されました



ぬくもりのあるまちをめざして

若築さんにインタビュー

りっぱな盲導犬になるのはこれから

盲導犬を飼いたいと思ったのは、テレビドラマで盲導犬使用者の言うことをなんでも聞く、健気で利口な盲導犬の仕事ぶりを知ったことがきっかけです。今年3月、大阪の訓練施設でプルートと出会い、そこで約3週間の共同訓練を受けました。4月8日から自宅に戻り生活を始めたところです。

最初は、散歩しても自分の言うことを聞かず寄り道したり、他の犬に気をとられたりと落ち着きがなく、「ドラマの犬のようにはいかないな」と思いました。しかし、県内の盲導犬使用者の会合で、「まだ一緒に暮らし始めたばかりで、盲導犬にも失敗があります。りっぱな盲導犬になるには1、2年はかかりますよ」と言われ、考えが変わりました。一緒に生活するパートナーとしてプルートとの信頼関係を深め、りっぱな盲導犬に育てていきたいと思っています。これらの成長を期待しています。



プルートからのお願い

なでたり、声をかけたりなど、気を引くようなことはしないでください。

盲導犬は人が大好きなので、声をかけられたりすると気になって安全な誘導ができなくなります。

食べ物を与えないでください

盲導犬の食事時間はきちんと決まっています。人間が食べているものを食べさせると、お腹を壊したり、排便のリズムを崩したりすることがあります。

ハーネス(胴輪)には絶対に触らないでください

盲導犬使用者は、ハーネス(胴輪)によって、盲導犬の様子や道の状況を確認します。ハーネスに触れると、使用者も盲導犬も判断を誤るおそれがあります。



ハーネス(胴輪)

目が不自由な人の外出することへの不安や恐怖を解消しようと考え出されたのが「盲導犬」です。現在、県内では9頭の盲導犬が働いています。視覚障害者の若築美昭さん(小山町)は、4月から盲導犬プルートとの生活を始めました。プルートも盲導犬として働きはじめたばかり。これからの若築さんとの生活の中で成長していきます。皆さんの理解と協力をお願いします。

まちを盲導犬が歩く

だれもが安心して暮らせるまちに



近所を散歩する若築さんと盲導犬プルート(5月20日 小山町)。道に迷っている様子だったら、若築さんに声をかけてください

盲導犬に関するおたずねは 福祉推進課障害者福祉係 (TEL 21-2211 内線4121)